

令和7年度 第1回 早島町地域公共交通会議議事録

日時：令和7年10月6日（月）午前10時～11時30分
会場：早島町役場3階 全員協議会室

1. 開会

2. 町長挨拶

本日はご多忙のところ、早島町地域公共交通会議にご出席いただき、誠にありがとうございます。また、日頃より本町の公共交通行政の推進に多大なるご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。さて、本町におきましては、これまでコミュニティバスやタクシーチケット事業など、町民の皆さまの移動を支える取組を進めてまいりました。また、昨年度は民間事業者様にご協力いただき、AI デマンド交通の実証運行も行いました。今後は、これまでの取組や課題を整理し、本町におけるあるべき公共交通の姿を検討してまいりたいと考えております。本日の会議は、地域公共交通計画の策定に向けたキックオフの場となります。計画の策定にあたりましては、単なる交通手段の整備にとどまらず、移動を通じて誰もが安心して暮らせるまちづくりにつながるよう取り組んでいくことが重要と考えています。今後、令和8年度末の計画完成を目指して進めてまいります。その過程で、委員の皆さまには町の将来を見据えた貴重なご意見をお寄せいただきたいと思います。本日は、忌憚のないご意見をいただき、計画のよいスタートとなるようお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

3. 委嘱状の交付

<各委員へ委嘱状の交付>

4. 自己紹介

<各委員・専門員の自己紹介>

5. 議題

本日委員13人中、ご出席いただきました委員は11名でございます。過半数を超える方にご出席いただきましたので、早島町地域公共交通会議設置要綱第5条第3項の規定により本会議が成立することをご報告させていただきます。

(1) 会長及び副会長の選出

会長及び副会長の選出につきましては、委員の互選となっておりますが、事務局案を提案させていただきます。いかがでしょうか。

<拍手多数>

ありがとうございます。事務局案を提案いたします。皆さんいかがでしょうか。

<拍手多数>

ありがとうございます。それでは、会長に議事運営をお願いします。

会 長：今回の会議は本日からスタートしますが、新たに地域交通計画を作っていくという、早島町にとって非常に大きな一歩を進めていく大事な会議でございます。委員の皆様より日常的に感じていること、あるいは専門委員の方から各地で行われている考え方、事例を出していただき、早島町にとって最適なものを考えてほしいです。公共交通の計画というのは、ここで住み続ける住民の幸福感のためのルーツとして非常に重要です。目的は交通を提供することではなく、住み続ける住民の幸福感のために必要な交通は何なのかを考える計画です。生活しているの実感が非常に大事になりますし、各地で積み重ねられてきた経験も非常に大事になってきます。思ったことをどんどん発言していただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

(2) 早島町の交通施策について

〈事務局から資料について説明〉

◇質疑応答・意見

会 長：何かご意見ございますか。

委 員：利用者数の推移について、利用している人の年齢ですが、小学生が通学で何名、一般の方が何名利用しているかのデータはありますか。また、西コースの金田が1番多いということでしたが、小学校の通学で乗り切れない場合、早島タクシーさんが毎朝迎えに来てくれていますが、バスの乗降者数に入っていますか。

事 務 局：ご質問ありがとうございます。1点目の利用者数の推移について、具体的な個別のデータはございません。今年度、実際にコミュニティバスに乗り、行き先や年齢の調査を予定しており、これから明らかになると思います。2点目の小学生が通学バスに乗りきれない場合の乗降者数ですが、タクシーに乗る場合は乗降者数には入っていません。

委 員：タクシーに乗車する小学生については、人数の記録はありますか。

会 長：ありがとうございます。他に何かございますか。

委 員：下前潟の路線が以前はあったが、現在はなく不便で困っているという声を聞くので、お話を聞けたらと思います。

委 員：南コースが廃止になった理由としては、運転手が急死してしまい、募集をしましたが、労働時間が短いことや給料の問題もあり次の運転手がみつからなかったことがあります。東コースの運転手を回そうにも人員が少なく回せない状態でした。他には、利用者が少なく費用対効果が3倍くらいかかっているというのもありました。このため、やむなく廃止となっています。

事 務 局：この地区は利用者数が少なく、当初の目標は、1日あたり乗車人数1.5人は乗って欲しいと地域に説明しましたが、令和4年度は0.5人程度でした。また、運転手さんが急逝され、代わりの運転手さんが見つからず廃止といたしました。南コースを復活させるという話は現状ありません。タクシーチケットを利用してほしいという説明を各町内会にしています。

会 長：ありがとうございます。非常に重要な指摘だと思います。町内で提供されているサービスに偏りがあるということです。町民への公平性の偏りが生まれているというのは1つ考えるべきところですね。もちろんタクシーチケットは1つの手です。ただ、この制度は年齢制限があるので、公共交通の施策というよりは、高齢者福祉の施策になります。この地域の他の年齢の方はどうなるのか、という選択肢がなくなります。大きな課題を指摘いただいたと思います。

委 員：AI デマンド交通について、この結果を早島町としてどう捉えているのか、今後どうするのかという方針をお聞かせ下さい。

事 務 局：AI デマンド交通につきましては、実証実験期間は2ヶ月という非常に短かったこともありまして、利用者数が伸びなかったと考えております。それに加え、早島町では無料のコミュニティバスが運行されていて、町内会に説明に回りましたが、無料のコミュニティバスがあるのになぜお金を払って AI デマンド交通に乗るのかという声もいただきました。AI デマンド交通と無料コミュニティバスのニーズ、どちらが強いのかということで、AI デマンド交通の利用が極端に伸びるのは難しいのかもしれない。現在、全世帯のアンケート調査をしており、AI デマンド交通の設問もあるので、ある程度の意向を知ることができればと思っています。AI デマンド交通も当初南コースをカバーする交通と考えておりまして、ニーズがあり運行することになれば交通空白の解消の手段になると考えています。

会 長：アンケート調査にも設問があるということで、調査結果も確認いただきたいと思えます。

委 員：福祉タクシーの件ですが、私の場合、町外に出るのに3回使いましたが、まだ残っています。残っているチケットの助成額についてはどうなっているのでしょうか。

事 務 局：助成の金額について、今年度約1,900万円の予算を確保していまして、昨年度の利用率から算出しています。今年度は利用者数も増え使用枚数も増えるということになっているので、おそらく予算を超えてくるのではないかと考えています。助成額というのは、タクシーチケットの枚数の話でよかったですか。

委 員：全部使う方がいるのかどうか、使わなかった分が明確に分かって、無駄にならないようなことがあるのでしょうか。

会 長：配布している枚数と使用の枚数のバランスを教えて欲しいというのがまず1つかなと思います。

事 務 局：使用率につきましては、令和6年度は、大体60%ということになっています。申請されている時にアンケートにお答えいただいております。タクシーチケットをどれくらい使ったかという設問に対し、全部使ったという回答は3割くらいあったと思います。使わないけど、保険の為にもらっておくという方もおります。それを合わせて大体60%くらいになっています。

委 員：せっかくなので、もったいないことがないような制度になればと思います。

委 員：タクシーチケットが始まった頃は、当社1社のみでしたが、倉敷に行った時にも使えるようにしなければということで、倉敷の13事業者も使えるように裏面に書いてもらいました。今回、公共交通会議があるということでタクシー事業者の会合でこの話がありました。今度11月から12月にタクシー運賃の値上げがあり、距離と

料金の関係で2枚の制限では不足しているため、適正ではないと思います。この枚数の制限は考慮していただきたいと思います。

委員：町外移動バスが倉敷市と交渉がうまく行かず、その代わりにタクシー移動を始めた経緯がございます。予算1,900万円を確保しておりますが、枚数制限がなくなると財政上続けていくことができなくなります。10月、11月に運賃改定がありますので、枚数についてはこれから協議していきたいと思います。高齢者の方が外出する頻度を高めていただくということで始めた事業ですので、ご理解いただきたいと思います。

委員：おかやま愛カードも経営を圧迫するため業者が撤退しています。そうならないように、早島町の予算も無尽蔵ではないのはわかりますが、地域の足を確保し町民が利用しやすいようにしてほしいと思います。

委員：予算を組み、24枚配布した分を全部使えたらよいが、他の方に譲渡したりすると予算が膨らんでしまう。早島町の公共交通が成り立たなくなる。コミュニティバスも、近い将来、運転手さんが確保出来なくなるということも前提に考えていかなければなりません。議会の方からも町外移動バスをなんとかしろと言われております。本当に要望があるのであれば進めていきますが、何かをやめていかないと早島町の財政が逼迫しますので、ご理解いただきたいと思います。枚数については担当課と話をしていきたいと思います。

委員：タクシーチケットの件ですが、利用が60%ということで、申請してお渡しするのであれば、残った分は返却してもらえば利用数が正確に把握できるのではないのでしょうか。本当に必要な人には枚数を増やせばよいと思います。そうしないと財政はいくらあっても足りなくなります。もう1点、他人への譲渡や売買について対応策はとっているのでしょうか。税金なので厳しい対応をとるべきではないのでしょうか。

会長：返却すべきだという話がありましたが、基本的にどなたに渡してどなたが使用しているかということを事務局は把握しているのですよね。譲渡したものを誰かが使ったということはわかるのですか。

事務局：把握できていません。

会長：問題は配布した人ではない人が使用していることを把握できていないのは非常に大きな問題だと思います。事務局はどう捉えていますか。

事務局：譲渡や売買の対応策については、今年度からチケットの利用者に署名を行っていただいております。もし他人への譲渡売買が判明した場合は、以降申請をお断りすることになっています。

会長：他にご意見ございますか。

専門員：資料10ページ、コミュニティバスの要望・課題について、財政負担は町としての課題となると思いますが、財政負担については現状維持していきたいのか、減らしたいのか、町の考えを聞かせていただきたい。この後、交通計画の議論において、町がどれだけ財政負担できるかどうかは重要な視点であると思います。コミュニティバスの無料運行の財政負担を減らすのであれば、有償化を考えている状況だと思うので、今時点での考えをお聞きできればと思います。

委員：目的は高齢者の外出の頻度を上げてもらうことなので、減らそうとは考えていませ

ん。3,000万円など倍に増えてしまうと、財政は厳しくなるので、コミュニティバスや町外移動バスの料金については、今後この交通会議で議論していきたいと思っています。

委員：バスではなく、ジャンボタクシー等を使い、コンパクトに運行できるようにできればと思います。バスが故障したときはジャンボタクシーで代替運行をしています。定時運行でこのままいくのか、タクシーチケットでいくのか、バスの運転手の高齢化も含めて交通会議で利用しやすい環境を検討し、早島町だからできるような町民が使いやすい方法を考えてほしいです。個人的にデマンドは賛成です。

会長：通学等デマンドでは解消できない時間帯もありますし、場所と時間帯を考えてデマンドと定時定路線の組み合わせを考えながら、今後議論していきたいと思っています。

(3) 地域公共交通計画の策定に向けて

〈事務局から資料について説明〉

◇質疑応答・意見

会長：ただいまの説明に関しまして、何かご意見ご質問ございますか。これから作るものがどんなイメージになるのかなというところですね。アンケート調査は、現在実施しているものですが、会議の中で調査票を一度練るタイミングを考えて欲しかったというところはございます。おそらくこの会議参加された方も、これ聞いたらとか、あるいはこういう言い方にしたら、というのはたくさんあったと思いますが、実施した結果を次回の交通会議で確認していきたいと思っています。

〈意見なし〉

特にご意見がなければ、議題をここまでにしたいと思います。

6. その他

〈その他意見等なし〉

7. 閉会